

4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

成果指標の達成状況	① 福江港ターミナルビルの利用者数		(目標値の根拠)		<30年度実施における変更点>			
	② 福江港ターミナルビルの管理瑕疵による事故発生件数		①福江港ターミナルビルの利用者数を前年度以上とする。		②福江港ターミナルビルを安全な状態に維持する。			
	③ 利用者向けアンケートの「快適度」項目における「普通」以上の割合		③福江港ターミナルビル利用者の満足度の向上。					
	実績		平成26年度(実績)	平成27年度(実績)	平成28年度(実績)	平成29年度(実績)	平成30年度(計画)	
		単位						
①	a	目標値	591	585	615	599	626	
	b	実績値	585	615	599	626		
	c	達成率b/a	%	98	105	97	104	
②	a	目標値	0	0	0	0	0	
	b	実績値	0	0	0	0		
	c	達成率b/a	%	100	100	100	100	
③	a	目標値	50	50	75	75	75	
	b	実績値	86	89	90	94		
	c	達成率b/a	%	172	178	120	125	
指定管理者の収支状況		事業計画(H29)		平成26年度(実績)	平成27年度(実績)	平成28年度(実績)	平成29年度(実績)	平成30年度(計画)
		(千円)	実績-計画					
収入	利用料金		14,878	14,463	14,455	13,941	14,878	15,013
	県負担金		0	0	0	0	0	0
	その他		21,200	22,660	21,579	20,468	21,200	22,613
	計a	0	36,078	37,123	36,034	34,409	36,078	37,626
支出b			36,078	37,123	36,034	34,409	36,078	37,626
うち人件費			5,442	7,494	5,427	5,344	5,442	5,581
収支a-b		0	0	0	0	0	0	0
配置職員数(人)		常勤	常勤	常勤	常勤	常勤	常勤	常勤
		非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤

※この収支は指定管理者が行う管理運営にかかるものであり、この他に県が直接負担したのものとしては、「2 施設の概要」の「県予算」の「その他」がある。

《表その2：管理運営負担金の対象事業を定めている場合は、次の表を使用する。》

指定管理者の収支状況		事業計画(H29)		平成26年度(実績)	平成27年度(実績)	平成28年度(実績)	平成29年度(実績)	平成30年度(計画)
		(千円)	実績-計画					
負担金事業	県負担金		0					
	その他		0					
	収入計a	0	0	0	0	0	0	0
	支出b		0					
うち人件費			0					
収支a-b		0	0	0	0	0	0	0
その他事業	利用料金		0					
	その他		0					
	収入計c	0	0	0	0	0	0	0
	支出d		0					
うち人件費			0					
収支c-d		0	0	0	0	0	0	0
配置職員数(人)		常勤	常勤	常勤	常勤	常勤	常勤	常勤
		非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤

5. 平成29年度事業の実施状況・実績の検証

管理運営の状況	計 画		実 績					
	<p><指定管理者実施分></p> <p>①機器の運転、清掃、各種保守点検業務を事業計画に沿って適正に行い、維持費等のコスト縮減を図る。</p> <p>②非常時及び緊急時には、施設利用者の安全確保を第一に図ることとし、通常時より施設・設備の保守点検及び関係機関との連絡調整を行う。</p> <p>③五島市の海上交通の拠点として、地域に開かれた施設となるよう運営に努力する。</p> <p><県実施分></p> <p>福江港ターミナルビルの管理運営協議及び助言指導を行う。</p>			<p><<指定管理者実施分>></p> <p>①機器の運転、清掃、各種保守点検業務は事業計画に沿って適正に実施された。</p> <p>②施設利用者の安全確保のため施設内警備体制の充実が図られるとともに、施設設備の保守点検及び関係機関との連絡調整についても適正に実施された。</p> <p>③五島市の海上交通の拠点として、地域に開かれた施設となるよう、花火大会の観覧場所としての施設開放や長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録に向けた宣伝活動など、地域の特性を活かした様々なイベントが実施された。</p> <p><県実施分></p> <p>福江港ターミナルビルの管理運営協議及び助言指導を行った。</p>				
	検 証							
<p>○管理運営業務は、事業計画に沿って適正に実施された。</p> <p>○施設の管理瑕疵による事故は発生しておらず、施設を安全な状態に維持することができた。</p> <p>○地域に開かれた施設として様々なイベントが実施され、利用者の満足度の向上につながった。</p>								

収支計画・実績

<指定管理者実施分>

(単位：千円)

主な項目	計画	実績	増減理由・収支改善の取り組み等
収入 a	36,483	36,078	
利用料金	13,929	14,878	
自己負担金	22,554	21,200	歳出削減による指定管理者の自己負担金の繰り出し減
支出 b	36,483	36,078	施設維持管理費の削減による歳出減
人件費	5,329	5,442	
収支a-b	0	0	

収支の状況

<県実施分>

検 証

- 利用料金について、計画より収入が増えた。
- 支出については、維持管理費の削減により歳出減となり、自己負担額の歳出減に効果を上げた。

指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価

A

(説明)

- 指定管理者制度の導入により、ターミナルビルと周辺の岸壁や駐車場などの港湾施設を五島市が一元的に管理することが可能となったため、非常時及び緊急時において迅速に対応ができるようになった。加えて、地域のイベントへの柔軟な対応が可能となるなど、福江港の管理業務の効率化及び利用向上に多大な成果があった。
- 利用者数は昨年度より増加し、高い水準を保っている。
- 以上により、福江港の利用者である市県民をはじめ、県内外から五島を訪れる観光客の利便に供するという施設設置目的に期待した成果が上がっていると判断する。

6. 平成30年度事業の実施にあたり見直した内容

内 容

7. 平成30年度事業の評価

視点	評価	判定理由
・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。	a	福江港利用者の利便に供するため、利用者サービスの向上や管理コストの縮減に取り組むなど適正な管理がなされている。
・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。	a	イベント時には施設を地域住民に広く開放するなど、公平かつ平等な利用を確保している。
・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。	a	アンケート結果をもとに施設の修繕、清掃など即座に対応している。旅客船、フェリーの待合場所の機能だけでなく、地域住民の交流の場として各種イベントが開催され、利用者サービスの向上が図られている。
・施設・設備の維持管理は適切に行われているか。	a	通常時はもちろん、運行時間の変更や荒天時にも迅速な現場対応を行うなど維持管理業務が適正に行われている。
・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。	a	利用料収入は、当初計画以上の実績を上げている。
・経費節減に向けた取り組みが行われているか。	a	管理コストの縮減に取り組む、経費縮減に向けた取り組みがなされている。
(その他の観点)	※評価区分 (a : 行われている b : 一部行われていない c : 行われていない)	

指定管理者の行う管理運営等に関する評価

施設の在り方についての評価	視点	評価	理由	
	必要性	・県民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか。	■ a. 薄れていない b. 一部薄れている c. 薄れている	福江港ターミナルビルは、五島の玄関口として多くの県民や県内外の観光客の利用に供される施設であり、施設を適正に維持管理する必要性は今後ますます高まっていくものとする。
		・事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適応しているか。	■ a. 適応している b. 一部適応していない c. 適応していない	指定管理者制度の導入により、利用者に質の高いサービスを提供し、かつ公平平等な利用の提供が行われており、経済情勢などの変化にも適応している。
		・市町または民間に移管・移譲することが適当（可能）ではないか。	■ a. 適当（可能）でない b. 一部適当（可能）でない c. 適当（可能）である	地元精通している五島市に移管することが望ましいが、施設整備費に充当した県債償還期間中は県が施設を所有する必要があるため、県債償還後に移管することが望ましい。
効率性	・県の負担や業務量に見合った活動結果が得られているか。	■ a. 得られている b. 一部得られている c. 得られていない	県による負担金はなく、すべての施設の利用料収入及び五島市の自己負担金（一般財源）で運営されており、かつ現在まで管理瑕疵による事故もなく適正に管理されている。	
	・指定管理者制度以外で、同一の県負担や業務量でより大きな活動結果が得られる手法に代えられないか。	■ a. 代えられない b. 一部代えられない c. 代えられる	県の負担金なしで適切に業務が遂行されており、他の効果的な手法はない。	
有効性	・指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手法となっているか。	■ a. なっている b. 一部なっていない c. なっていない	地元五島市が指定管理者になることで公平かつ平等な施設運営が行われており、設置目的に十分寄与している。	
	・事業効果をさらに上げる余地はないか。	■ a. 余地はない b. 一部余地がある c. 余地がある	人件費の抑制及び経費の縮減など自助努力を行っており、これ以上の節減についてはサービスの質の低下を招く恐れがあるなど困難である。	
(その他の観点)				

8. 平成31年度事業の実施に向けた方向性

区分	■ 現状維持	改善	移管	廃止
(説明：31年度事業の実施に向けた方向性の理由・見直しの内容) ○平成29年度は、利用者数及びアンケート結果共に目標以上の数値を達成している。今後も引き続き、市県民や県外観光客の利便に供するため、利用者アンケートの実施や五島市と連携した施設運営を行い、施設利用者数と利用満足度の向上を目指す。 ○建物については施設設置から10年以上経過しており、今後も修繕箇所が増加することが予想されるが、優先度の高い修繕から計画的に実施していく。 (上段に加え、成果指標達成状況が「未達成」であるのに現状維持の場合はその理由を以下に記載)				